

パレット

～認める 支える 分かち合う 個性かがやく参画社会～



日本女性会議設立総会



◀全国山城サミット in 佐野の様子



日本女性会議2017
とまこまいPRの様子▶

【日本女性会議2019さの実行委員会 設立】

『日本女性会議2019さの』実行委員会設立総会が昨年9月13日市役所で開催されました。

実行委員会は、男女共同参画ネットワークさのの会長をはじめ学識経験者、観光団体、地域経済団体、報道関係団体、行政など17名で構成されており、実行委員長には宇都宮大学副学長の藤井佐知子さんが選出されました。そして、12月19日には第2回目の実行委員会が開催され2019年10月25日（金）～27日（日）の本大会に向けての本格的な準備に入りました。また、今後大会テーマやシンボルマークの決定、「日本女性会議2019さの」イベントが開催される予定となっています。

昨年10月に開催された苫小牧大会には、佐野からも実行委員長や行政をはじめ、多くの市民が全体会や分科会、交流会、エクスカッション（体験型観光）に参加し、男女共同参画実現に向けた課題の解決策を探りながら交流を図り、佐野大会のPRをしました。そして、2年後、佐野での再会を約束しました。

昨年開催された「全国山城サミットin佐野」は行政だけではなく、ボランティアの力で大成功に導いています。日本女性会議を成功させるためにも、市民の皆さんの協力とおもてなしが必要になります。

今後、金沢市、佐野市、刈谷市と続いていきますが、36回目となる佐野大会では、全国の男女共同参画に取り組む仲間へエールを送り、市民、企業、団体、行政が手を携えて、佐野らしい大会にしていきたいと思います。

大川圭子さんインタビュー

【とちぎ女性会議開催のきっかけ】

今年で3回目の開催だった「とちぎ女性会議」でしたが、開催するきっかけとなったのは、2014年に行った県主催の研修会でした。その時、研修成果の発表をしましたが、「これを今だけではなく、継続してやっていきたい。」と言った思いからその時のメンバー6人で結成しました。

【実施するにあたって苦労した点や気を付けた点について】

メンバーが自分以外に県外在住の方はおらず、打ち合わせ等が宇都宮でなかなか会議に参加することが出来なかったのですが、メールのやりとりをすることで、情報共有などをしてきました。

また、実施するにあたっては、行政が行う場合は、すでに確立された方や現役で活動されている方が講演することが多いですが、私たちは30代・40代で家事・育児をしている方や子どもがいるいないに関わらず自分の目標に向けて頑張っている方を中心とした発表者など自分たちオリジナルの会議を開催できたらと思っています。

【今後の展望とメッセージ】

地域や意識の差を感じて、地方だと同世代を集めるのは難しいなど痛感していて、自身のキャリアや働き方を考える場、声を出していける場というのをもっと身近に提供していければと思っています。今後若い世代に「共感・共有・等身大の私たち」をテーマに皆さんに伝えていければと思っています。

大川さん貴重なお時間ありがとうございました！
今後活動の幅がさらに広がっていくといいですね！！



大川圭子さん

働く女性が男女共同参画実現に向けたシンポジウム「とちぎ女性会議」を2015年から開催。2018年には、第4回目を迎える。メンバーの一人として、もっと仕事・子育てをしている現役世代に参加してもらいたいと思い、仲間と設立。

シリーズ!

輝く人たち

こども食堂(早川さん)インタビュー

【こども食堂開設のきっかけ】

新聞や雑誌などの報道でした。シングルマザーや共稼ぎで帰りが遅い家庭での子どもの孤食情報を知ったのがきっかけでした。研修会や本を調べていくうちに自分たちにもできることはないかと思い、平成28年10月より毎月第三金曜日ということでスタートしました。

【対象や参加費・周知についてはどのようにしましたか】

対象は2歳〜中学三年生までで、子どもは高校生まで無料で親は三百円かかります。スタートは、デイサービスセンターほほえみでしたので、植野地区や学校関係者にチラシやホームページで周知しました。基本は歩いて来られる子が理想ですが、親が送迎してくれる場合は、地区外も参加できます。

【市内で初めての取り組みですが、大変だったことはありませんか】

初めは施設の持ち出しでスタートしましたが、輪が広がっていくにつれ、地元や企業の方が支援してくれて、今では、いただいた野菜や寄付、ボランティアの方と施設職員で運営しています。

【こども食堂を開設したことで参加者家族の変化はありましたか】

親の休む機会が生まれたことです。これは時間がない親もこども食堂を利用することで時間に余裕ができて、子どもとコミュニケーションが取れる時間が生まれたそうです。

【最後に今後のこども食堂についてお聞かせください！】

こども食堂は貧困と考えている人が多いかもしれませんが、私たちは食事だけでなく、学習支援を行うなど、多種多様なスタイルをとっています。

また、県の会議では、こども食堂は中学校区に1つは必要と言われており、県内では41か所あります。平成29年に「花咲さの」でもスタートしましたが、それぞれ月一回であり、まだまだ足りないと思っています。継続的に続けるには、人材・物資などの支援が必要であり、協力者を増やしていきたいです。

早川さん貴重なお時間ありがとうございました！
地域みんなで子どもたちを支える環境が作れるといいですね♪



株式会社

HSコーポレーション

代表取締役 早川茂さん

平成19年に会社設立。デイサービスセンター、サービス付高齢者向け住宅などを運営する。平成28年から地域貢献活動の一環として、こども食堂を開設。福祉サービスの拠点としての役割を果たし、地域住民の信頼と期待に応えるために奮闘中。



「パレット賞」を受賞して

～平成29年度男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」受賞事業者に聴く！～

株式会社 遠藤食品 様 (写真上段左)

株式会社 田村写真館天使の森佐野オリヴィエ 様
(同上段中)

有限会社 グローバルアクションパートナーズ 様
(同上段右)



◇評価ポイント◇

個々のスキルアップ支援、セーフティネットの充実、女性の人材育成、地域に根差した職場づくり、仕事と家庭生活の両立支援、研修制度の充実、子育てしやすい職場環境づくりなどなど・・・各事業者様の様々な取り組みが評価されました！

今回受賞された皆様に授賞式の日にお邪魔させていただいて、お話を伺いました！

【遠】 遠藤食品様、【天】 田村写真館天使の森佐野オリヴィエ様、

【グ】 グローバルアクションパートナーズ様

★受賞しての感想をお聞かせください。

【遠】 とても素敵な賞を頂いたと思っています。

【天】 とても素敵な賞をいただけただけで光栄です。

【グ】 女性スタッフが注目されてとても光栄でした。

★男女が共に働きやすい職場作りとして、どんなことをしていますか。

【遠】 男女問わずやりがいのある職場を目指しています。また、社員を大切にするため、育児休暇、産休などの制度改革をし、結婚後も勤められる環境づくりを目指しています。

【天】 ライフスタイルに合わせたシステム作りをしており、女性が活躍・輝ける職場を作っています。他にも、保育園・幼稚園の延長保育の費用を補助したり、勉強会を積極的に行っています。ずっと仕事を続けてもらいたい思いがあり、そのために良い環境をつくる努力をしています。

【グ】 女性が働きやすい職場を作ることには当然のことだと思っています。性別・年齢に関係なく働きやすい職場作りをしています。

★職場ではどんなスタッフがいいますか。

【遠】 商品開発部門では女性課長職の方が業務を遂行しているのですが、実はその女性は自社の第一人者で、まだ30代と若いながらも中心となって日々商品開発をしています。

【天】 みんないきいきとしています。男性社員からも賞に恥じないように女性に対する知識を増やして、女性が輝ける職場を目指すべきだとお互いに意識しはじめ、相乗効果が生まれています。

【グ】 70代の女性が自分の人生に自信を持ってイキイキと働いています。

★PRしたいことなどあれば、ぜひ一言お願いします！

【遠】 まだまだ、寒いのでしょうが食卓において、ぜひ温まって欲しいです。

【天】 「この仕事をしていてよかった!!」と日々感じてもらえる職場にしたい。また、写真館のテーマパークを目指しているので、スタッフとお客様に楽しんでもらいたいですね。

【グ】 開業して8年目に入ります。不動産部門も、飲食部門もスタッフ一同思いやりを持って仕事に臨みます。どうぞお立ち寄りください。農家直営「ぽっぽや」もどうぞよろしくお願いたします。



クローズアップ



**佐野税務署
署長 大平智子さん**

2017年7月より税務署長に在職。税務大学の職員教育や訟務官として国税に関する仕事に取り組んできた。



卓越した税務知識とキャリアを有する国税局訟務官室や税務大学校での勤務経験がある佐野税務署長の**大平智子さん**にお話を伺いました。

★**7月から赴任された佐野市の印象はどうか。**
税務に協力的な企業、個人の方が多いと思いました。これは、佐野市民の方は真面目なお人柄なのだと思えます。また、佐野ラーメン、ギョウザが美味しいですね。あと、城山から眺める雪化粧の男体山が素晴らしいです。

★**入庁した際の同期の職員の女性の割合はどれくらいだったのですか。**
5%程でした。今も三分の一は勤めています。定着率がいいのだと思います。

★**男性の中の勤務はどうでしたか。**
やりにくいことはほとんどありませんでした。逆に、自分の時は、女性が珍しかったということで名前を覚えてもらえました。

★**子育てをしながらの勤務についてはどうでしたか。**
当時は育児休業制度がなかったため、産前産後の何週間しか休みが取れず、子どもを保育園に預けるか、仕事を辞めるかしかありませんでした。続けられる自信はなかったです。子どもをそれぞれ別の保育園に預けていたこともありましたが、夫が家事・育児にとっても協力的で送迎をしてくれました。また、職場も協力的で、普通は短期間での異動となることが多いのですが、考慮していただき9年間異動がなかったのです、非常に働きやすい職場でした。

★**税務署長として何を職員に伝えたいですか。**
男性女性関係なく登用し、仕事に取り組んでもらうことで、女性職員が実力をつけ、幹部に育っていくと考えています。ライフスタイルの中で女性を支援していければと思います。また女性に限らず男性にも育児休暇を取得してもらえうとか、介護休暇制度を活用するなど、職員それぞれの事情に合わせた働き方ができる様な職場環境を醸成し、ワークライフバランスを推進したいです。

インタビューを終えて：
現在は、片道2時間の通勤。朝ごはんは主にご主人が用意してくれるのですが、夕食は休日に煮物を作るなどして事前に準備するそうです。家庭と仕事を上手に両立している大平さんの働き方改革は、参考にさせていただく点がいくつもありました。大平署長ありがとうございました。

◆お知らせ

佐野市では各種相談窓口を設置しています。ぜひご利用ください。

【女性のためのカウンセリング相談】

●日々の生活の中で女性の抱える様々な悩みについて、女性のカウンセラーがあなたと一緒に考えます。一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。
相談無料、事前予約制、お電話での相談も受付けております。(秘密厳守)

【女性相談】

●夫婦のこと、家族のこと、男女のトラブルなど女性のかえる悩みについて相談をお受けします。一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。(相談無料)

【女性の再就職相談会】

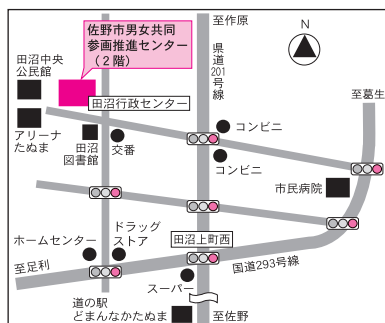
●「働きたいママを応援します！」再就職への疑問、不安：聞いてみませんか？
ハローワークマザーズコーナーの相談員が相談をお受けします。
(託児サービス有)

◇各相談の時間・場所については、「人権・男女共同参画課」までお問合せください。



【編集後記】

今回初めてインタビューに同った「花咲の」さんには、誰でも入れる「子ども食堂」をモットーに親子のコミュニケーションのサポートに取り組みたいとのことでした。未来の子どもたちが安心して暮らせる社会には何が必要なのでしょう。今後、子どもたちを支える活動の広がりの中で、新しい地域の在り方が見えてくると思います。



【編集委員】

- 阿部陽子 今井美砂子
- 岩永秀聖 黒澤千賀子



パレット 第17号【2018年3月発行】
編集発行 佐野市市民生活部人権・男女共同参画課
〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3
電話 0283 (61) 1140 FAX 0283 (61) 1142
E-mail: danjokakari@city.sano.lg.jp

男女共同参画に関する身近な情報や、市内で活躍する女性の情報をお寄せください。また情報紙「パレット」についてのご意見、ご感想をお待ちしております。